

けい酸カルシウム板用
カチオン系アクリルシリコンエマルションシーラー

アレス水性

ケイカル シーラー

アレス水性ケイカルシーラーの特長

カチオン系アクリルシリコンによりけい酸カルシウム板の安定的な補強性を有します。

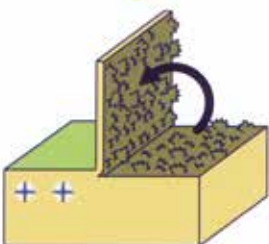
①通常の水性シーラーを塗装した場合



通常の水性シーラーでは、
けい酸カルシウム板の脆弱な
部分を補強できません。

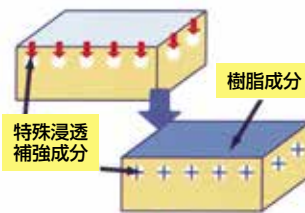
水性上塗り塗装

その状態で水性上塗りを塗装し、
テープ付着試験をすれば…



基材の脆弱部分から容易に
剥離してしまいます。

②アレス水性ケイカルシーラーを塗装した場合



アレス水性ケイカルシーラーを塗装
すると、カチオン系アクリルシリコン
の特殊浸透補強成分がけい酸カルシ
ウム板の脆弱部分に浸透し、基材と
結びつくことで補強します。
また、アクリル樹脂成分は表面で
塗膜を形成し、上塗りとの密着性を
確保するとともに吸い込み止めの
役割を果たします。

水性上塗り塗装

その状態で水性上塗りを塗装し、
テープ付着試験をしても…



アレス水性ケイカルシーラーが基材
の脆弱部分を補強し、かつ上塗りと
十分に密着しているため、基材の
脆弱部分から簡単には剥離しません。

アレス水性ケイカルシーラー

■ 主な用途

戸建住宅、マンション、学校、病院、オフィスビル
などの内装および準外部への塗装

■ 主な適用素材

- 【新設】 けい酸カルシウム板、コンクリート、モルタル、フレキシブル板など
(但し、乾式耐火被覆板などは塗装できません。)
- 【改修】 各種内装旧塗膜
(旧塗膜が活膜で、下地との密着性が確保されていることが必須です。)

■ 標準塗装仕様

工 程	塗 料	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (重量%)
素地調整	ゴミ・汚れなどを除去し、乾燥した清浄な面とする。 また、釘頭、たたき跡、傷を埋め、不陸を調整し、乾燥後、表面を平らに研磨する。				
下 塗 り	アレス水性 ケイカルシーラー	0.13~0.17	2時間以上 7日以内	ハケ・ ウールローラー	0 (無希釈)
上 塗 り	下記の各種上塗り塗料(所要量・塗装間隔などはそれぞれの各塗料の条件に従ってください)				

※所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境により増減することがあります。

■ 適用上塗り塗料

- JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント
ビニデラックス各種、アレスエコクリーンマット など
- JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント
アレスアクアグロス、アレスエコクリーングロス など
- JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料
アレスセラマイルド、アレスセラマイルドグロス など

■ 製品情報

品 名	アレス水性ケイカルシーラー
容 量	15kg
色	乳白色透明

施工上の注意事項

- 01 カチオン性ですので、他の水性塗料と混合するとゲル化するので絶対に避けて下さい。ハケ・ローラーなどの塗装用具の共用も避けて下さい。
- 02 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2)、または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。
- 03 塗り残しのないよう、素地および旧塗膜に対し膜厚が均一になるように塗布してください。
- 04 コンクリートブロックやALCなど吸い込みの多い素材には、2回塗りを行ってください。
- 05 塗り替えの場合、旧塗膜が活膜で下地との密着性が確保されていることを確認してください。その上で、塗装する際には事前に表面の目粗しを行ってください。
- 06 上水で希釈すると、性能低下の原因となりますので絶対にしないでください。
- 07 降雨が予想される日や、気温および外気温が5℃以下、湿度85%以上の条件で塗装すると、塗膜形成に不具合が生じる恐れがありますので塗装は避けてください。また、塗装後24時間は雨水や結露に曝されないように注意してください。
- 08 躯体などからにじみ出たシミや水性マジックは止まらないことがあるので注意してください。
- 09 けい酸カルシウム板でもかさ比重の低い乾式耐火被覆板などには施工できません。
- 10 上塗りにつや有合成樹脂エマルジョンペイントを塗装した場合、塗装後しばらくの期間は塗膜の柔軟性が高いため、急激に養生テープを剥がすと上塗りとともに素材から剥離する恐れがあります。養生テープやマスキングテープを剥がす際には、丁寧にゆっくりと剥がしてください。
- 11 シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、ワレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シープラ」または「マルチタイルコンクリートプライマー EPO」をバインダーとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- 12 シーラー塗装直後に養生テープやマスキングテープを貼り付けると、剥がす際に基材表面から剥離する恐れがあります。シーラー塗装面に養生テープなどを貼り付ける場合には、シーラー塗装後16時間以上経過してからにしてください(23℃)。
- 13 強溶剤系塗料を上塗りに使用することは避けてください。
- 14 さび缶等はプラスチック容器を使用してください。金属類はサビが発生するおそれがあります。
- 15 ご使用前に十分かき混ぜて均一にしてから塗付してください。

ご使用上の注意事項 ■下記の注意事項を守ってください。 ■詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予防策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛を着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対応

- 目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東 北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東圏 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東 京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
中 部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大 阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中 国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四 国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九 州 TEL(0972)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

(21年05月21日PP0)カタログNo.269